

向けるのも共に考えものです。アメリカには、そんなことを気にしない人が多いと思います。研究というのは、本質的には個人の興味に支えられるべきもので、“世界をリードしよう”などと肩ひじをはるのは邪道でしょう。“これが解りたい”という driving force と、誰

よりも自分自身を納得させる事が大切だと思います。

こちらの質問に、真剣に考え、多くを語る荒川さんには、圧倒されるものを感じました。

(東大理・住 明正)

日本気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
昭和62年度日本気象学会 春季大会	昭和62年 5月26～28日	日本気象学会	筑波大学
TOGA に関する シンポ ジウム	昭和62年 6月 4, 5日		東大海洋研
第2回 WMO 気候診断 予報会議	1987年 6月15日～19日	WMO	
月例会第31回 山の気象 シンポジウム	昭和62年 6月20日		気象庁
第24回理工学における同 位体元素研究発表会	昭和62年 6月29日 ～7月 1日	共同主催	国立教育会館
第5回エアロゾル科学・ 技術研究討論会	昭和62年 8月19日～21日	エアロゾル研究協議会 日本気象学会他	筑波研究学園都市研究交 流センター
第16回太平洋学術会議	1987年 8月20日～30日		韓国, ソウル
International Union of Geodesy and Geophysics, XIX General Assembly	1987年 8月 9日～22日		カナダ, バンクーバー
第6回地球大気化学シン ポジウム	1987年 8月23日～27日	IAMAP 大気化学・地球 汚染委員会	カナダ, ピーターボロー (トレント大学)
IUTAM シンポジウム 「渦運動の基礎的様相」	昭和62年 8月31日 ～9月 4日	組織委員会	日本学術会議
第25回粉体に関する討論 会	昭和62年 9月24日～26日		北海道大学
40周年記念 レーダ気象会議	1987年11月 9日～13日	NSF, NASA, NOAA 他	アメリカ, ボストン
Second Inter American Meteorological Congress and CONGREMET V	1987年11月30日 ～12月 4日	アメリカ気象学会他	アルゼンチン, ブエノス ・アイレス
半乾燥地域における対流 性降雨に関するシンポジ ウム	1987年12月14日～18日	アメリカ気象学会他	イスラエル, イェルサレ ム
Tropical Micro-Metro- logy and Air Pollution 国際研究集会	1988年 2月15日～19日		インド, ニューデリー
国際シンポジウム第3回 流れのモデル精度向上化	昭和63年 7月26日～28日	同組織委員会他	日本都市センター
第27回 COSPAR 総会	1988年 7月18日～29日	宇宙科学研究委員会 (COSPAR)	フィンランド, ヘルシン キ及びエスプー
オゾン・シンポジウム	1988年 8月 8日～13日	IAMAP	西ドイツ, ゲッティンゲン (ゲッティンゲン大学)
放射シンポジウム	1988年 8月	IAMAP 放射委員会	フランス, リール